

■札幌で玉城知事「辺野古でたらめ」 名護市辺野古の新基地建設をはじめ沖縄の基地問題について玉城デニー知事が県の立場を発信する「トクキャラバン」が19日、北海道札幌市で開かれた。玉城知事は基調講演で、新基地建設が普天間飛行場の早期返還のためという理屈が成り立たないことを説明し「事実を一つ一つ確認していくと辺野古新基地がいかにてたらめかが分かる」と指摘。キャラバンには約1100人が参加し、玉城知事の話に耳を傾けた。稲嶺恵一元知事が付した15年使用期限や軍民共用の条件を政府がほごにした経緯や、後に判明した軟弱地盤の問題も紹介した。